

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 特 許 公 報(B2)

(11) 特許番号

特許第3673695号
(P3673695)

(45) 発行日 平成17年7月20日(2005.7.20)

(24) 登録日 平成17年4月28日(2005.4.28)

(51) Int. Cl.⁷

F I

A 4 7 B 13/08

A 4 7 B 13/08

A

A 4 7 B 13/00

A 4 7 B 13/00

B

A 4 7 B 17/00

A 4 7 B 13/00

Z

A 4 7 B 17/00

A

請求項の数 2 (全 8 頁)

(21) 出願番号 特願2000-151060 (P2000-151060)
 (22) 出願日 平成12年5月23日 (2000.5.23)
 (65) 公開番号 特開2001-327334 (P2001-327334A)
 (43) 公開日 平成13年11月27日 (2001.11.27)
 審査請求日 平成14年9月30日 (2002.9.30)

(73) 特許権者 000139780
 株式会社イトーキクレビオ
 大阪市城東区今福東1丁目4番12号
 (74) 代理人 100079131
 弁理士 石井 暁夫
 (74) 代理人 100096747
 弁理士 東野 正
 (74) 代理人 100099966
 弁理士 西 博幸
 (72) 発明者 西澤 崇爾
 大阪市城東区今福東1丁目4番12号 株
 式会社イトーキクレビオ 内

審査官 河本 明彦

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 机の構造

(57) 【特許請求の範囲】

【請求項1】

天板と、この天板を支持する脚体とから成り、前記天板における外側面のうち前記脚体の部分に、切り込み部を設け、この切り込み部内に、これを塞ぐようにしたカバー体を着脱自在に装着して成る事務用机において、

前記天板における切り込み部の内面と、これに装着したカバー体との間に、適宜寸法の隙間を、切り込み部の内面全体にわたって延びるように設け、

前記脚体の上端から立設する支柱状部材は、前記カバー体と前記きり込み部との間の隙間を通して前記天板より上方に突出するように構成されていることを特徴とする机の構造

。

【請求項2】

断面L字型の前記支柱状部材は、前記脚体の上端に取付けられた連結体に締結され、前記支柱状部材の断面の一部が、前記切り込み部の内面と前記カバー体との間の隙間に挿入されていることを特徴とする請求項1に記載の机の構造。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明は、筆記又はコンピュータ操作等のような各種のデスクワークを行う事務等を使用される机の構造に関するものである。

【0002】

【従来の技術と発明が解決しようとする課題】

一般に、この種の机のうちの一つに、前記天板における外側面のうち脚体の部分に、切り込み部を設け、この切り込み部内に、これを塞ぐようにしたカバー体を着脱自在に構成したものがある。

【0003】

この形式の机は、天板における上面に何物も設けることなくその上面の全体を広い平面として使用する場合と、前記カバー体を取り外し、切り込み部の箇所に、脚体から支柱状等の部材を立設して、この部材によって、照明器具、上棚又はオーバヘッドキャビネット等を支持したり、隣り又は後方に並べた机との間に間仕切りにしたりする場合とに随時変更できるように構成したものである。しかし、従来においては、前記切り込み部に対するカバー体として、前記切り込み部に部材を立設するときに合わせて形成したカバー体と、前記切り込み部に部材を立設しないときに合わせて形成したカバー体との二つを用意しなければならないという問題があった。

10

【0004】

しかも、従来は、切り込み部に対するカバー体を、切り込み部の内面に密着する構成にしているから、天板の上面と、カバー体の上面との間に、製作時の寸法誤差のために段差が存在すると、この段差が目立つことになるばかりか、製作時の寸法誤差のために、カバー体を切り込み部に対して装着できなくなる事態が発生するという問題もあった。

【0005】

本発明は、これらの問題を解消することを技術的課題とするものである。

20

【0006】**【課題を解決するための手段】**

この技術的課題を達成するため、請求項1に記載の発明の机の構造は、天板と、この天板を支持する脚体とから成り、前記天板における外側面のうち前記脚体の部分に、切り込み部を設け、この切り込み部内に、これを塞ぐようにしたカバー体を着脱自在に装着して成る事務用机において、前記天板における切り込み部の内面と、これに装着したカバー体との間に、適宜寸法の隙間を、切り込み部の内面全体にわたって延びるように設け、

前記脚体の上端から立設する支柱状部材は、前記カバー体と前記切り込み部との間の隙間を通して前記天板より上方に突出するように構成されているものである。

【0007】

30

請求項2に記載の発明は、請求項1に記載の机の構造において、断面L字型の前記支柱状部材は、前記脚体の上端に取付けられた連結体に締結され、前記支柱状部材の断面の一部が、前記切り込み部の内面と前記カバー体との間の隙間に挿入されているものである。

【0008】**【発明の作用・効果】**

このように、請求項1に記載の発明によれば、天板における切り込み部の内面と、これに装着したカバー体との間に、適宜寸法の隙間を、切り込み部の内面全体にわたって延びるように設けることにより、照明器具又はオーバヘッドキャビネット或いは間仕切り等を支持する支柱状部材、又は間仕切りを、前記隙間を通して脚体から立設することができるから、前記切り込み部に対するカバー体を、照明器具等を支持する支柱状部材、又は間仕切りを立設する場合と、立設しない場合との両方について同じ部品にすることができる。

40

【0009】

しかも、前記した隙間を設けたことにより、天板の上面と、カバー体の上面との間に、製作時の寸法誤差のために段差が存在する場合に、前記隙間によって、この段差を目立たなくすることができ、更に、製作時の寸法誤差のために前記カバー体を切り込み部に対して装着できなくなる事態が発生することを、前記隙間の存在によって回避できることができる。

【0010】**【発明の実施の形態】**

以下、本発明の実施の形態を、図1～図12の図面について説明する。

50

【 0 0 1 1 】

この図において、符号 1 は、天板を、符号 2 は、前記天板 1 の左右両端を支持する脚体を、符号 4 は、前記両脚体 2 の相互間を互いに連結する横長のステー部材を、符号 5 は、前記天板の後面に沿って延びるように配設する配線受け樋を各々示す。

【 0 0 1 2 】

前記両脚体 2 は、床面上を机に対して前後方向に延びる下アーム部材 6 と、この下アーム部材 6 の上面から立設する金属板製中空状の脚柱 7 と、同じく前記下アーム部材 6 の上面から前記脚柱 7 の後面に沿って立設する金属板製中空状の補助脚柱 8 とによって構成されている。

【 0 0 1 3 】

この場合において、前記補助脚柱 8 の断面形状は、略正方形であるが、前記脚柱 7 の断面形状は、図 4 に示すように、その外側面板 7 a を机の前後方向に略真っ直ぐな平面に、その内側面板 7 b を後方に向かって湾曲しながら内向きに傾斜した湾曲傾斜面にするとしように一つの湾曲辺と二つの直線辺とを有する略三角形に形成されている。また、これら各脚柱 7, 8 は、前記下アーム部材 6 の上面に対してボルト 9, 10 の締結にて着脱自在に連結されている。

10

【 0 0 1 4 】

次に、符号 11 は、前記両脚体 2 の上端の各々配設した連結体を示し、この連結体 11 は、平面視において略矩形に形成され、その一つの角部における下面には、前記補助脚柱 8 の上端内部に嵌まった状態で、補助脚柱 8 に対してボルト 13 の締結にて着脱自在に取付けられる補助脚取付け部 12 が一体的に設けられている。

20

【 0 0 1 5 】

また、前記連結体 11 の各側面のうち前記補助脚取付け部 12 を有する一つの角部を挟んで互いに直角をなす二つの側面には、前記脚柱 7 の上端内部に嵌まった状態で、脚柱 7 に対してボルト 15 の締結にて着脱自在に取付けられる脚取付け部 14 が一体的に設けられ、この両脚取付け部 14 のうち一方の脚取付け部 14 を、前記脚柱 7 の上端内部に嵌めるようにして取付ける一方、他方の脚取付け部 14 に、前記配線受け樋 5 の一端部を、ボルト 15' の締結にて着脱自在に連結する。

【 0 0 1 6 】

更にまた、前記連結体 11 の各側面のうち前記補助脚取付け部 12 を有する一つの角部と対角をなす他の一つの角部に隣接して互いに直角をなす二つの側面には、前記横長のステー部材 4 の取付け部であるところの棒片 16 を横向きに一体的に突出して、これに前記ステー部材 4 の一端を被嵌したのちボルト 17 を締結することにより、ステー部材 4 を着脱自在に連結する。

30

【 0 0 1 7 】

前記両連結体 11 の上面には、机の前後方向に延びる天板支持板 18 を配設して、この天板支持板 18 を、前記連結体 11 に着脱自在に取付けて、この両天板支持板 18 の上面に、前記天板 1 を載せるように構成する。

【 0 0 1 8 】

これに加えて、前記天板支持板 18 には、天板 1 の下面に沿って前方に延びる上アーム部材 19 を固着することにより、この上アーム部材 19 によっても天板 1 を支持するように構成され、更に、前記天板 1 の下面に、前記ステー部材 4 の上面のうち複数箇所に設けた各受け片 21 を前記天板 1 の下面に接当することにより、ステー部材 4 によっても天板 1 を支持するように構成する。

40

【 0 0 1 9 】

前記天板 1 における左右両外側面 1 a のうち前記脚柱 7 及び補助脚柱 8 に該当する部分には、これらを露出するようにした切り込み部 1 b を設けて、この切り込み部 1 b には、当該切り込み部 1 b 内のうち前記脚柱 7 の上端における連結体 11 及び天板支持板 18 を覆い隠すようにしたカバー体 22 と、前記補助脚柱 8 の上端における連結体 11 を覆い隠すようにした補助カバー体 23 とを着脱自在に装着する。なお、これらカバー体 22, 2

50

3は、いずれも、図示していないが、装着した状態で、脚体2側に対して着脱自在に係合するように構成されており、且つ、これらカバー体22, 23の外側面は、例えば、天板1の外側面1aと略同一平面とするように、少なくとも、天板1の外側面1aより突出しないように構成されている。

【0020】

この場合において、前記カバー体22を、前記天板1の切り込み部1bにおける内面との間に適宜寸法S（例えば、3～6mm程度）の隙間を形成するように構成する。

【0021】

そして、前記天板1の上方に、図1及び図3に二点鎖線で示すように、オーバヘッドキャビネット20を配設する場合において、このオーバヘッドキャビネット20の両端を支持する支柱状部材24を、前記脚体2の上端に取付けた連結体11又は天板支持板18の上面から立設するに際して、この支柱状部材24を、図9～図11に示すように、金属板にて断面L字型にして、この断面の一部を、前記切り込み部1bの内面と、前記カバー体22との間における適宜寸法Sの隙間に挿入するように構成する。

10

【0022】

なお、前記支柱状部材24の下端は、前記連結体11に対して複数本のボルト25にて締結されており、また、この支柱状部材24における内部のうち天板1より上方の部分は、図12に示すように、カバー26を着脱自在に取付けることによって中空状にして、その内部に配線等を通すように構成されている。

【0023】

20

この場合において、前記支柱状部材24を利用して、これに照明器具又は上棚板を取付けたり、或いは、隣り又は後方に並べた机との間に間仕切りを取付けたりすることができる。

【0024】

また、本発明における別の実施の形態においては、図13に示すように、隣の机との間の間仕切り部材27を、前記切り込み部1bの内面と前記カバー体22との間における適宜寸法Sの隙間に挿入するように取付けることができる。

【0025】

このように、天板1における切り込み部1bの内面と、これに装着したカバー体22との間に、適宜寸法Sの隙間を、切り込み部1bの内面全体にわたって延びるように設けることにより、照明器具又はオーバヘッドキャビネット或いは間仕切り等を支持する支柱状部材24、又は間仕切り27を、前記隙間を通して脚体2から立設することができるから、前記切り込み部1bに対するカバー体22を、照明器具等を支持する支柱状部材24、又は間仕切り27を立設する場合と、立設しない場合との両方について同じ部品にすることができるのである。

30

【0026】

なお、前記切り込み部1bの形状は、前記図示したように、脚体2の断面と同じように略三角形にすることに限らず、脚体2の断面形状に合わせて、長形状又は正方形にしても良く、或いは、脚体2の断面形状に相違する形状にしても良いことはいうまでもない。

【図面の簡単な説明】

40

【図1】 本発明の実施の形態による机を示す正面図である。

【図2】 図1の平面図である。

【図3】 図1の左側面図である。

【図4】 図3のIV-IV視拡大断面図である。

【図5】 図1において天板を除いた状態を示す平面図である。

【図6】 図5のVI-VI視拡大断面図である。

【図7】 図6のVII-VII視断面図である。

【図8】 要部の分解斜視図である。

【図9】 天板から支柱状の部材を立設した場合を示す斜視図である。

【図10】 支柱状の部材を立設した場合に天板を除いた状態を示す平面図である。

50

【図 1 1】 図 1 0 の XI - XI 視断面図である。

【図 1 2】 図 1 1 の XII - XII 視拡大断面図である。

【図 1 3】 天板から間仕切りを立設した場合を示す斜視図である。

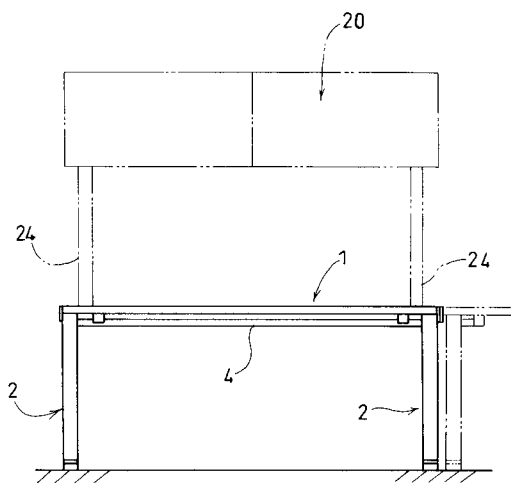
【符号の説明】

- | | |
|-----|---------------|
| 1 | 天板 |
| 1 a | 天板の外側面 |
| 1 b | 切り込み部 |
| 2 | 脚体 |
| 4 | 横長のステー部材 |
| 5 | 配線受け樋 |
| 7 | 脚柱 |
| 8 | 補助脚柱 |
| 1 1 | 連結体 |
| 1 4 | 脚取付け部 |
| 1 6 | ステー部材に対する取付け部 |
| 1 8 | 天板支持板 |
| 2 2 | カバー体 |
| 2 4 | 支柱状部材 |
| 2 0 | オーバヘッドキャビネット |
| 2 7 | 間仕切り |

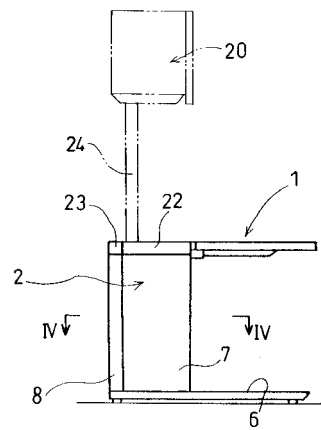
10

20

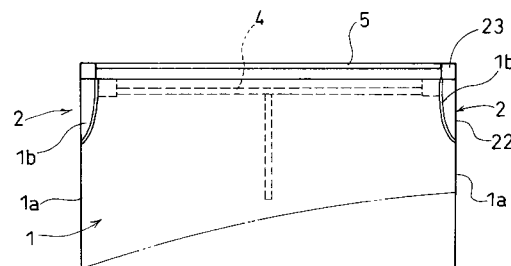
【図 1】



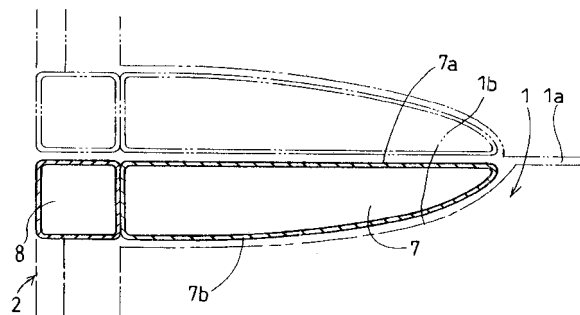
【図 3】



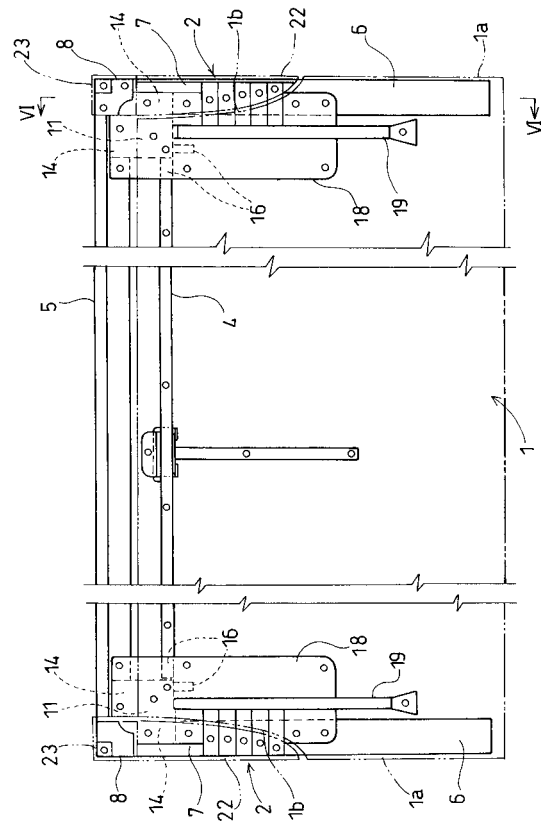
【図 2】



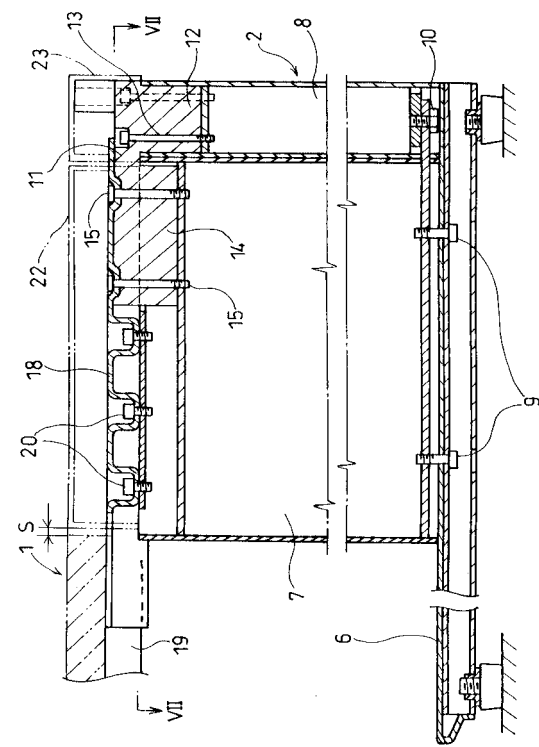
【図 4】



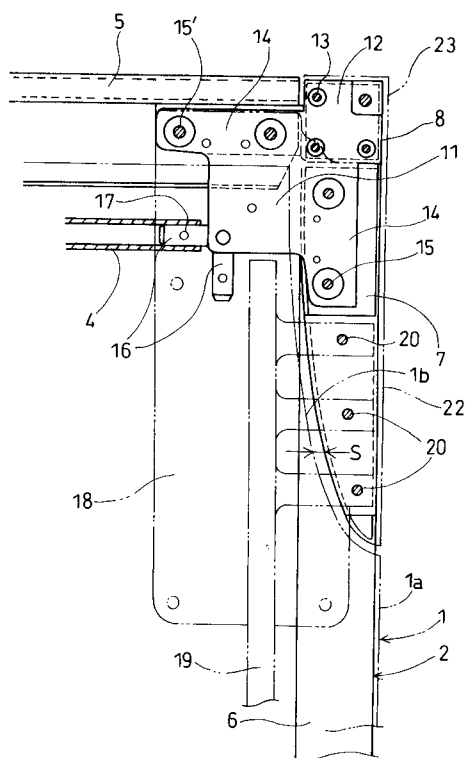
【図 5】



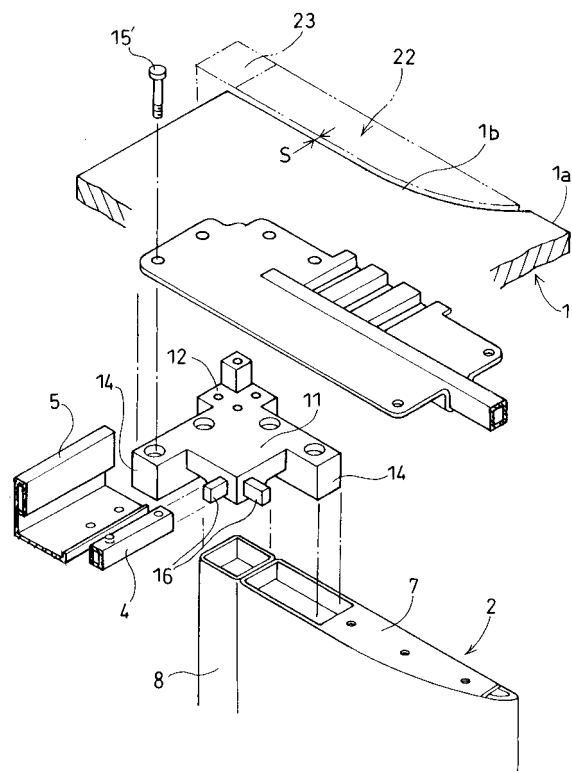
【図 6】



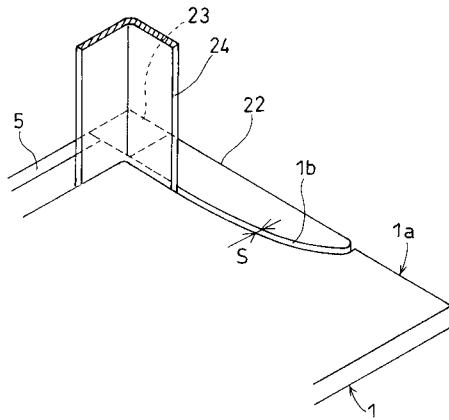
【図 7】



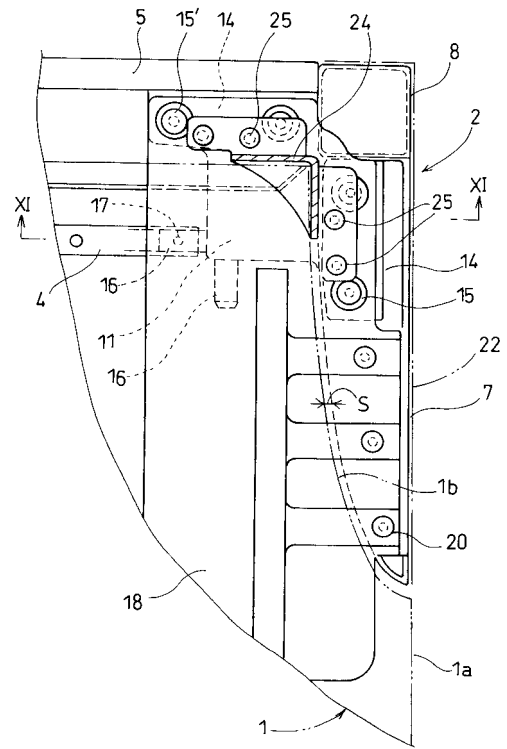
【図 8】



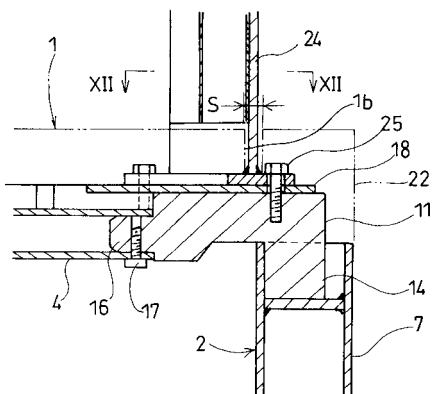
【図 9】



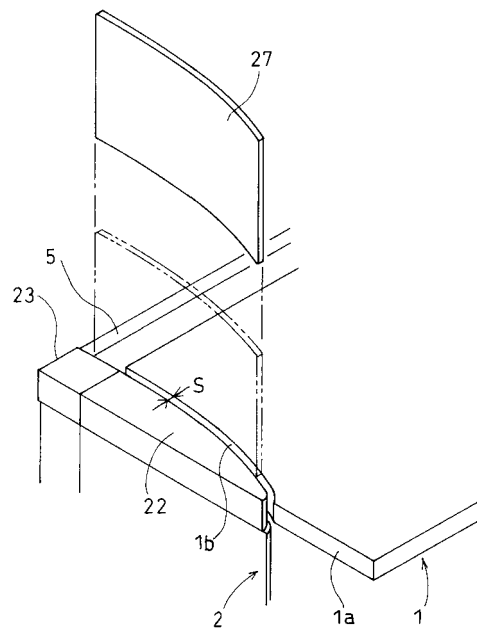
【図 10】



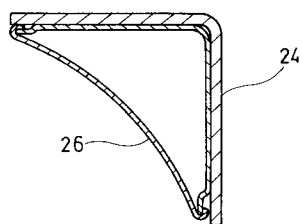
【図 11】



【図 13】



【図 12】



フロントページの続き

- (56)参考文献 特開平03-015215(JP,A)
特開平06-319616(JP,A)
特開平08-154745(JP,A)
実開平05-046325(JP,U)

(58)調査した分野(Int.Cl.⁷, DB名)

A47B 13/00

A47B 13/08

A47B 17/00